

ごみ収集車にBDFを注ぐ市と作業所の職員



ごみ収集車にBDF

廃食油回収に協力要請

三次市



環境に優しい循環型社会を目指そうと、三次市は二十三日、ごみ収集車に、てんぷら油などの廃食油を再利用したバイオディーゼル燃料(BDF)の使用を始めた。今後、

廃食油を回収した市内の住民自治組織に助成金を交付するなどして事業の拡大を図る。

環境に優しい循環型社会を目指そうと、三次市は二十三日、ごみ収集車に、てんぷら油などの廃食油を再利用したバイオディーゼル燃料(BDF)の使用を始めた。今後、

廃食油の再生燃料化装置を持つ同市島敷町の身体障害者通所作業所「三次共同作業所」が製造したBDFを使用。市によると、収集車一台で年間三千五百リットルの軽油を消費

するため、燃料をBDFに替えば、年間九トンの二酸化炭素の削減効果と約八万円の燃料費節約に

葬儀は862-110000
平安祭典三次

ステーションモデル事業」の一環で、住民自治組織が回収した廃食油を一リットルで買い取る事業を開始。公共施設や事業所にも協力してもらい、廃食油を確保するという。

市市民生活部の林智恵子部長は「環境に優しいまちづくりにはみんなの理解が必要。BDF使用車を増やすため、積極的に廃食油の回収に協力してほしい」と呼び掛けている。(余村泰樹)